

- ◆ 平成24年秋に開催した「五感で感じる関門景観・10選探見(たんけん)物語～海を渡って新たな発見～」にて、10選やその周辺について「景観チェックシート」(よいところ・改善が必要なところ等)を作成していただきました。
- ◆ また、大学生のみなさまには「関門景観レポート」を提出していただきました。
- ◆ その中からいくつかをご紹介します。

景観チェックシートのご意見

回答数は、計203件 *参加者数は78名
 全体のこと 4件
 下関のこと 93件
 門司のこと 106件

完成度の高い施設があるが、群としての統一感、細部、アイテム等が不統一。

景観とは、社会的なホスピタリティの視点があると考える。

全体のこと



門司のこと

海峡の持つ豊かさを減じそうなもの、特に大きなものをつくる時には注意を欲しい。

【大里の赤煉瓦建物群】赤煉瓦と緑やバラ等とのコントラストが良く、赤煉瓦の建物が映えていた。時間景観の美しさが良かった。

下関のこと

【壇之浦船溜まり】まちなかにある漁港の景観が、古くから現在に続く時間を感じさせる。

【矢筈の階段坂道】階段坂道からの対岸の景観は、港町ならではの景色だと思います。頬を風がなでるさわやかさ！生活感もある景色だと思う。

壇之浦船溜まりから赤間神宮前の潮溜まりに行く途上にある老朽建築物は異質であった。周辺の建物が地域の資産を引き立たせるような配慮が必要。

【唐戸の伝統建築物】歴史的建造物が点在している。これらをどういう形で線の、面的景観としてつなげていくのか課題。

【巖流島】巖流島に上陸するのではなく、俯瞰的に見ることができた体験は貴重。

関門景観レポートのご意見

山口県・福岡県内の大学より参加の9名の学生のみなさまにご提出いただきました。

【全体のこと】関門海峡を軸として、門司・下関には他にはない歴史的景観を多く有していて、この景観はかけがえのない財産であると考えています。これら形ある歴史を残していくことは、次の世代にも歴史を学び、新たな未来を創造していく手助けになると考えているので、今後もこのような活動を、地域や行政などが連携していくことが大切だと感じました。

【壇之浦のよいところ】住宅に船を収容できる点が、個性的で印象に残りやすく、また、昔から漁業をその土地で行われていることを示すことができると感じました。「視覚から歴史を感じその土地での生活も感じられる」という面白い財産だと自分は思いました。



【改善の必要があるところ】10選に選ばれている景観が点々としていて街の活性化としては改善すべきだと考える。だからひとつひとつの景観を繋ぐ景観が増えていけば良いと思う。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

関門景観の変化をたどっています！

- 平成16年8月の届出制度開始以降、関門景観形成地域内で建築物等の新築等の際に、景観の協議を行ってきました。
- 行政では、届出物件の完成後やいろいろな視点場からの景観を撮影しています。

景観協議のプロセスはとても大事です！
 地域の景観に興味を持って、みなさんと点検してみよう。